経営比較分析表（令和6年度決算）

岐阜県　御嵩町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**	
-	96.23	99.72	4,158	

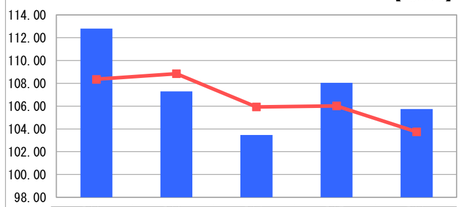
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
17,523	56.69	309.10
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km²)**	**給水人口密度(人/km²)**
17,412	21.60	806.11

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

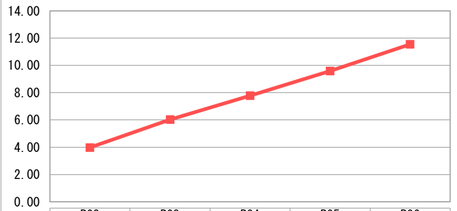
【107.26】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	112.80	107.30	103.46	108.04	105.75
平均値	108.35	108.84	105.92	106.01	103.74

②累積欠損金比率(%)

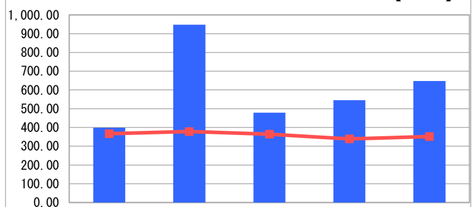
【1.61】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	3.98	6.02	7.78	9.59	11.55

③流動比率(%)

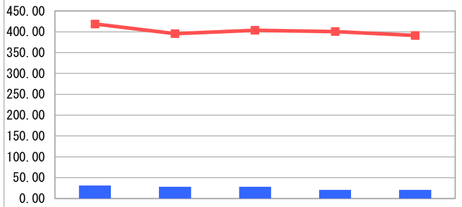
【239.69】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	398.55	947.86	479.33	545.66	647.50
平均値	367.55	378.56	364.46	338.89	352.34

④企業債残高対給水収益比率(%)

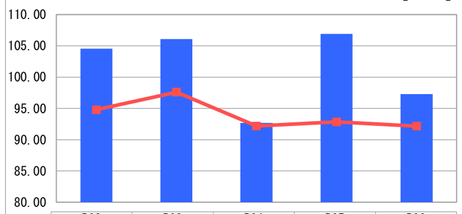
【264.86】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	31.39	28.45	28.05	20.96	20.42
平均値	418.68	395.68	403.72	400.21	391.13

⑤料金回収率(%)

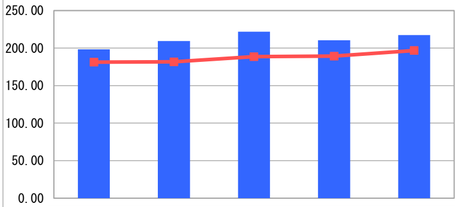
【97.59】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	104.56	106.07	92.67	106.92	97.28
平均値	94.78	97.59	92.17	92.83	92.16

⑥給水原価(円)

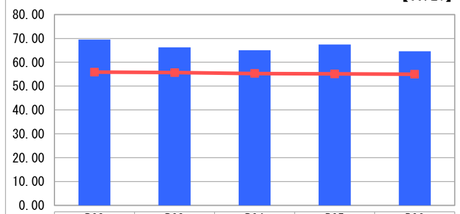
【181.66】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	198.38	209.33	221.86	210.52	217.33
平均値	181.30	181.71	188.51	189.43	196.75

⑦施設利用率(%)

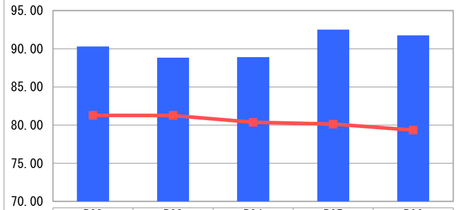
【60.21】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	69.55	66.22	65.08	67.41	64.58
平均値	55.89	55.72	55.31	55.14	54.99

⑧有収率(%)

【89.21】

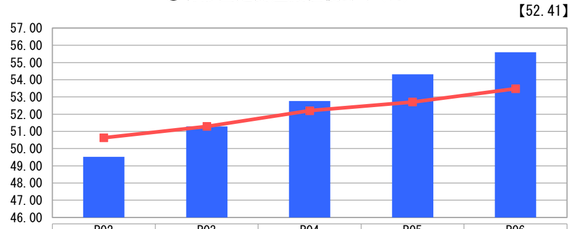


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	90.28	88.83	88.90	92.52	91.76
平均値	81.27	81.26	80.36	80.13	79.34

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

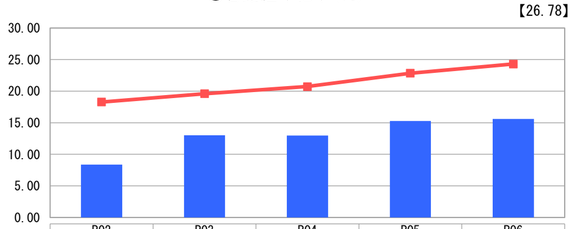
【52.41】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	49.52	51.29	52.76	54.32	55.59
平均値	50.63	51.29	52.20	52.70	53.48

②管路経年化率(%)

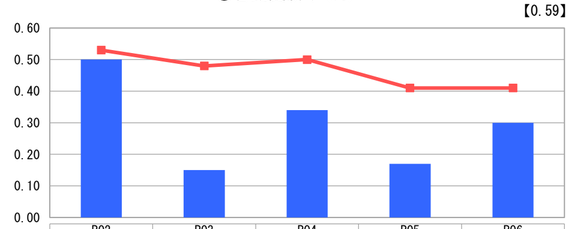
【26.78】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	8.38	13.00	12.97	15.26	15.61
平均値	18.28	19.61	20.73	22.86	24.31

③管路更新率(%)

【0.59】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.50	0.15	0.34	0.17	0.30
平均値	0.53	0.48	0.50	0.41	0.41

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経営収支比率
令和6年度は、経常収益（営業収益）が減少したことにより、経常収支比率が減少しました。毎年100%を超えています。

②累積欠損金比率
累積欠損金が発生していないため0%となっています。

③流動比率
負債、資産共に減少しましたが、比率は増加しました。

④企業債残高対給水収益比率
新たに企業債の借入を行っておらず、年々減少傾向にあります。類似団体と比較しても低い状態です。

⑤料金回収率、⑥給水原価
令和6年度は、水道料金減免事業を行い給水収益・供給単価・料金回収率が前年令和5年度より減少しました。給水原価は前年度より増加、類似団体平均値を上回っているため、より一層の経費削減を図る必要があります。

⑦施設利用率、⑧有収率
類似団体と比較して上回っていますが、引き続き老朽管の布設替えの推進や漏水調査等の実施により、有収率の更なる向上に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率・②管路経年化率
施設や設備の老朽化により減価償却費等は年々増加し、令和5年度に引き続き類似団体を上回りました。

③管路更新率
有形固定資産減価償却率及び管路経年化率は今後も増加することが見込まれるため、計画的に管路の更新を進めていくことが必要になります。

全体総括

人口減少に伴い、給水収益の減少が見込まれる一方、地震などの災害に対応するため、老朽化した施設の維持管理費や更新費用の増加が見込まれます。したがって、老朽化した施設の更新とともに統廃合を計画的に進め、経費の削減に努めながら事業運営を進めていくことが必要になります。